



人類に
奉仕する
ロータリー

Rotary



CHINO



ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

2016～2017年度国際ロータリーテーマ

茅野ロータリークラブ

創立1981. 1. 26

茅野ロータリークラブ活動指針

「楽しく奉仕・広がれ友好の輪」

2016 - 2017 会長 田中 淳喜 幹事 桑澤 一郎

Vol.22 1688 2017.1.18

会長挨拶

先週は諏訪大社に初詣に行って、おみくじを引いたら「吉」だったと言うことで、おみくじの順番の話をしたが、皆さんは初詣に行ってお賽銭はいくらあげたでしょうか。私は何も考えずに100円上げたんですが、いくら上げるのがいいのか、気になりましたので、又調べてきました。

お賽銭の額を聞く、あるアンケートで「10円」と答えた人が、一番多かったそうですが、お賽銭に10円玉はダメだそうです。その理由は「10円」は「とおえん」とも読むことから「遠い縁」であり、「縁が遠のいてしまう」ということです。

縁起のいいお賽銭の額ですが、ご縁がありますように、ということでは5円。10円でも5円が2枚で、重ね重ねご縁がありますように。11円、いいご縁がありますように。あと、15円は十分ご縁。25円は、二重にご縁。41円は、始終いい縁。45円は、始終ご縁。105円は、十分ご縁。115円は、いいご縁。125円は、十二分にご縁。485円は、四方八方からご縁がありますように。そして最後に1万円、円万ということから「円満」に通じるそうです。ニコニコボックスに毎回のように入力していますが、さすがにお賽銭で1万円と言うのは躊躇してしまいます。

反対に、悪い意味になってしまう金額もあるので注意して下さい。65円、ろくなご縁が無い。75円、何のご縁も無い。85円、やっぱりご縁が無い。500円、これ以上効果(硬貨)がない。500円がダメというのは驚きですが、あくまでこれは、語呂合わせで、その人の感謝の気持ちが何より大事、自分がそのときに供えたい、と思った金額が、一番いいそうです。来年の参考にして下さい。

この間の日曜日の長野日報に、茅野市営の6つの温泉施設の利用者が、前年に比べ5.5%減り、利用料収入も1.6%減った、という記事が載っていました。温泉好きな私としては、大変興味がありましたので、じっくり読ませていただきました。

昨年の4月までは、市内・市外を問わず、料金は大人400円で一律でしたが、4月から料金が改定されました。市内は400円でそのまま、市外の方は600円に大幅に値上げされました。その影響で客離れが進んだそうです。利用者が大幅に減ったのは、菊沢の望岳の湯と金沢の金鶏の湯です。望岳の湯は、原村の柳沢、大久保、柏木がすぐ近くで、金鶏の湯は富士見の神戸がすぐ隣ですが、原村、富士見の常連客が、値上げの後、来なくなったそうです。すぐ近くで、毎日くらい通っていたのに、行けなくなった。意地悪をしたように、かわいそうなことをしてしまったような気がします。対照的に、縄文の湯は、観光客や登山客が2割以上利用するので、入場者は4%くらい減りましたが、収入は7%近く増えたそうです。

私はよく、北杜市のむかわの湯や延命の湯に行きますが、ずっと以前から市外は市内の倍以上の料金で、今は大人810円です。茅野市は、前は市内・市外、差別無く一律で、大変良いことだと思っていましたので、去年、別料金にするようになって、残念というか、寂しい気持ちがありました。温泉に入るのに、市内も市外も関係ありません。みんなで仲良く、楽しく入れればいいんです。

茅野市は、温泉施設は、「市民の福祉と健康の増進を図る」のが目的で、今回の値上げは、「受益者負担の公平性を図る」のが狙いで、「設置目的を変える予定はない」ということですが、それでいいのでしょうか。茅野市は、観光に力を入れて、観光客の増加を目指す、と言っています。温泉は、観光の魅力ある資源です。市外の方の料金を高くする、と言うことは、「この温泉は市民のためのもので、お前らよ者は来るな」、と言っているようなものです。料金を、前のように市内・市外を問わず一律にして、観光客の方に、茅野にはいい温泉がたくさんありますから、是非寄って温まって下さい、とPRした方が、喜ばれますし、また来てくれると思います。せっかく、はるばる遠くから、茅野に来てくれたんです。温泉くらい安い料金で、楽しんで帰ってもらいましょう。それが、ほんとうの「おもてなし」だと思います。市長はどう思われるのでしょうか。

幹事報告

※別紙幹事報告書

ニコニコBOX

人数
31人
金額
48,000円

◎田中淳喜会長
◎柳平千代一会員
◎石田元一会員
◎池田輝明会員
◎藤本稔会員
◎北原重信会員
◎長井和彦会員

超忙しい、感謝。
久しぶりの例会参加です。今日も今年も宜しくお願いします。
誕生日のフルーツありがとうございました。
冬はゴルフもなく読書三昧。何十冊も読破しました。まだ頑張れそう。
柳平市長卓話宜しくお願いします。
柳平市長のご活躍さらに期待します。
市長をお迎えして

IMピアー

諏訪湖ロータリークラブ

IM実行委員長 三村 様



私は上諏訪で明治40年創業の三村貴金属店経営しています。
IMは2月26日岡谷のライフプラザマリオで開催されます。講演される方は野口義弘様で、北九州でガソリンスタンドのオーナー社長をしていますが、年収240万円とのことで、どういうことかといいますが、この方は非行少年の更生保護に取り組み彼ら無条件で雇い売上金を盗まれても許すということとこれまで経営されてきました。お話を聞いて皆さんも感動すると思います。またIMはグループ内の親睦も目的としておりますので大勢の方のご出席をお願いします。

卓話

茅野市長

柳平千代一 様



まず市長は田中会長の市の温泉施設の料金改定への反対の提言について返答しました。

「市の温泉施設は年間60万人の利用者があり、県外者の利用につき賛否両論がある。それらを十分検討して市長として政治判断を行った。そもそも温泉施設を作った目的は観光のためではなく市民のために作ったもの。今回の改定では県外者に対しては値上げしたが今後の状況を見て改定することはあり得る。」

次に茅野市の水(下記テーブルにその製品化された水はいったペットボトルを配布、皆で試飲)について話されました。

「この水は茅科の城の平の入り口にある茅科第二水源より採取し塩尻の工場で作ってもらった。原価は一本87円。茅野市の水の実力については5年前の例会でも話したが市販されている水と比べても量質ともにランクの高い素晴らしい水である。この水をどう活用するかは茅野市の産業発展にもつながる。茅野市の水道は100%地下水で、茅野市には浄水場というものがない。このままでもうまい水であるが水道法により入れたくはない塩素を入れてある。このペットボトルを原価で分けてもいいのではないかと考えている。皆さんもこの水をPRしていただきたい。」

最後に市政の改定について述べられました。

「諏訪東京理科大学は平成30年4月に公立化、また観光推進機構が同じく30年4月からスタートする。茅野市では平成29年4月から組織改編を行う予定。30年に策定する第5次茅野市総合計画を見据えて次の4点を今後のまちづくりの主な課題ととらえる。『人口減少と本格的な超少子高齢社会への対応』『まちの魅力の向上』『安全・安心な暮らしの確保』『さらなる協働のまちづくりの推進』これらの課題を事業として進めていくために、より関連性を重視した組織とし、行政運営を効率的・効果的に実行できるよう、組織のあり方を見直すことにした。(以下具体的に市役所の部・課の配置や改編について述べられました)」

最後に観光、地域振興について述べられました。「いろんな技術も持っている地域員推進隊員を15名を採用することにより茅野市のまち作りに活用したい。すでに9名の採用が決まっております中には意欲を持った外国人女性もいる。」

出席報告

会員数 54名
出席 41名
出席率 76%